

栃木県立自然公園

おおひらさん

美しく自然にめぐまれた景勝地



電車をご利用の場合



お車をご利用の場合



バスをご利用の場合

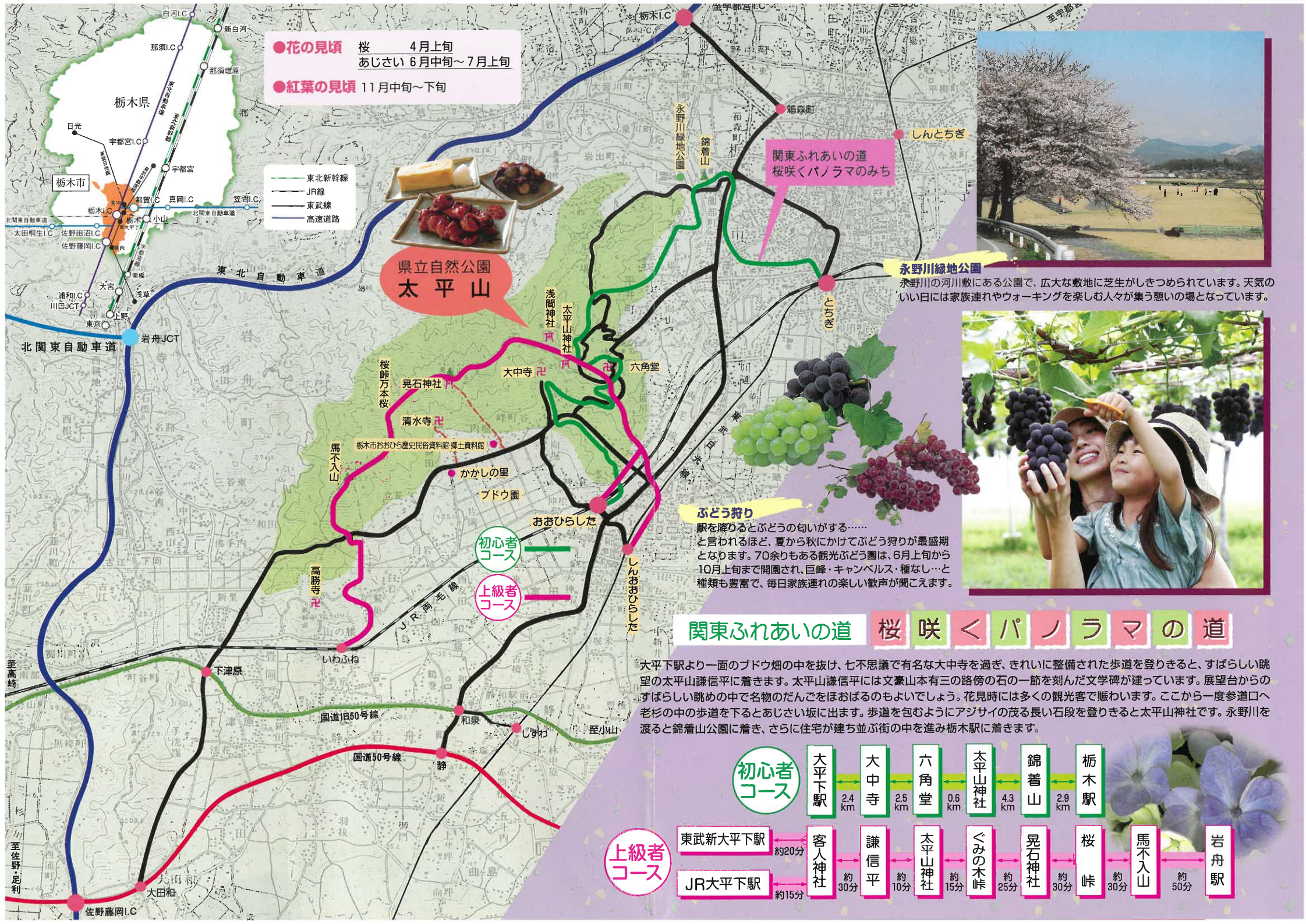
- 太平山神社・あじさい坂・謙信平
関東自動車(株)国学院線をご利用ください。
乗降所/ 栃木駅北口
 - ぶどう団地・晃石山・馬不入山
ふれあいバス岩舟線(東回り)をご利用ください。
乗降所/ 栃木駅南口
- ふれあいバスの問い合わせ先 栃木市交通防犯課 ☎0282-21-2153

タクシーをご利用の場合

■ (-社) 栃木市観光協会 栃木市倭町14-1 ☎0282-25-2356 / FAX.0282-20-7373
 栃木市観光協会でご案内いたします。 [栃木市観光協会 タクシー 検索](#)

問い合わせ先
 栃木市観光振興課 ☎0282-21-2373-2374
 栃木市大平産業振興課 ☎0282-43-9213
 (-社) 栃木市観光協会 ☎0282-25-2356





●花の見頃 桜 4月上旬
あじさい 6月中旬～7月上旬

●紅葉の見頃 11月中旬～下旬

県立自然公園
太平山

関東ふれあいの道
桜咲くパノラマのみち

永野川緑地公園

永野川の河川敷にある公園で、広大な敷地に芝生がしきつめられています。天気の良い日には家族連れやウォーキングを楽しむ人々が集う憩いの場となっています。



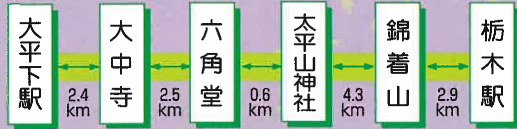
ぶどう狩り

駅を降りるとぶどうの匂いがする……
と言われるほど、夏から秋にかけてぶどう狩りが最盛期となります。70余りもある観光ぶどう園は、6月上旬から10月上旬まで開園され、巨峰・キャンベルス・種なし…と種類も豊富で、毎日家族連れの楽しい歓声が聞こえます。

関東ふれあいの道 桜咲くパノラマの道

大平下駅より一面のブドウ畑の中を抜け、七不思議で有名な大中寺を過ぎ、きれいに整備された歩道を登りきると、すばらしい眺望の太平山謙信平に着きます。太平山謙信平には文豪山本有三の路傍の石の一節を刻んだ文学碑が建っています。展望台からのすばらしい眺めの中で名物のだんごをほおぼるのもよいでしょう。花見時には多くの観光客で賑わいます。ここから一度参道口へ老杉の中の歩道を下るとあじさい坂に出ます。歩道を包むようにアジサイの茂る長い石段を登りきると太平山神社です。永野川を渡ると錦着山公園に着き、さらに住宅が建ち並ぶ街の中を進み栃木駅に着きます。

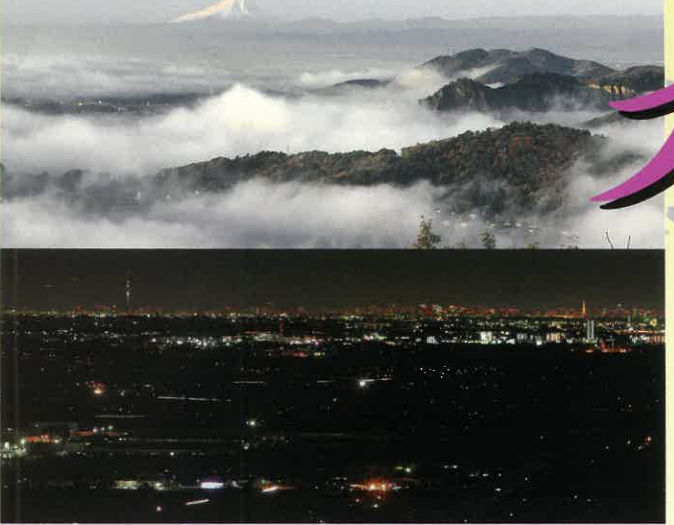
初心者コース



上級者コース



四季おりおりのおりの美しい... 風情あるたたずまい。



太平山

栃木 県立自然公園
おおひらさん

けんぺい
【謙信平】
山頂近くの謙信平からの眺めは「陸の松島」と、明治・大正の国学者岡吉胤が讃えたほどの素晴らしいです。天気の良い日には富士山や東京スカイツリーが見えます。春の桜、夏のあじさい、秋の紅葉も素晴らしい。

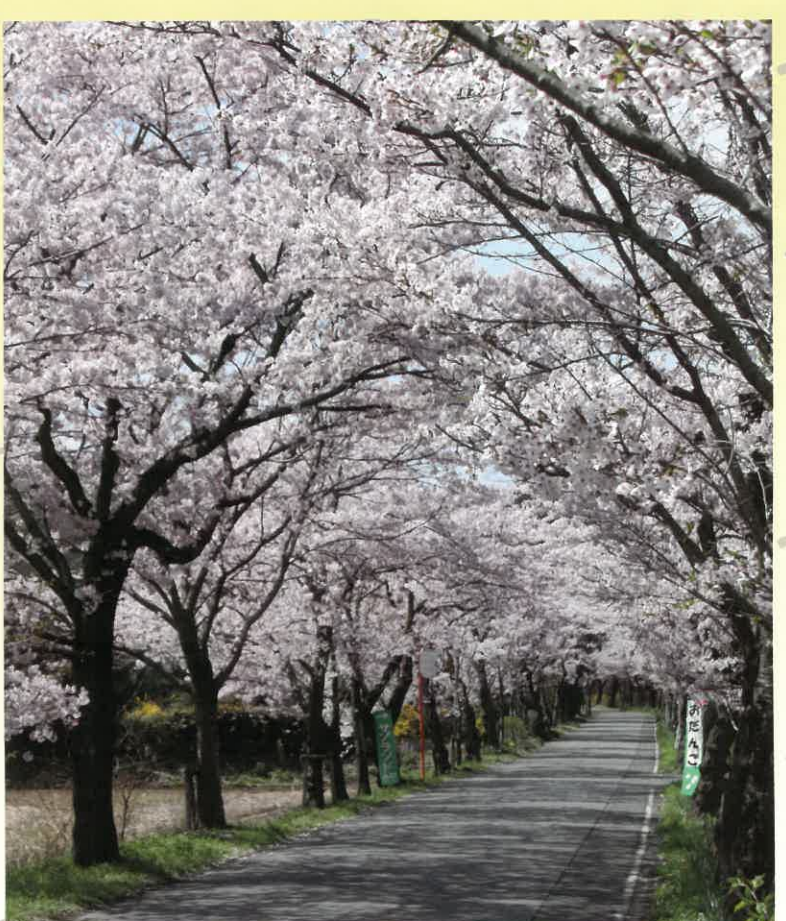


やまもと
【山本有三文学碑】
明治20年(1887)栃木市に生まれた文豪山本有三の文学碑が太平山の謙信平にあり、「路傍の石」の一節「たった一人しかない自分を、たった一度しかない一生を……」は今も多くの人に感銘を与えています。



おひらさん
【太平山神社】
「慈覚大師により創建されたといわれています。『日月星』の御神徳をあらわす三座の神々をお祀りしており、それらの神々は折願成就の神様として古くから篤く信仰されています。拝殿の傍の星宮神社は、江戸時代までの神仏習合の名残で、お寺の御堂のような造りをしています。

太平山は、栃木市の西部にある丘陵地帯で標高341m、中心にある頂上には太平山神社、謙信平がありここからの眺めは南方はるかに秩父連山をはじめ、渡良瀬川との間に点在する丘や林などが海に浮かぶ小島のように映るところから「陸の松島」といわれ、よく晴れた日には遠く富士山や東京スカイツリーを望むこともできます。
南山麓には七不思議で知られた大中等など歴史と四季折々の美しい自然にめぐまれた景勝地です。



ゆうらん
【遊覧道路(桜のトンネル)】
錦着山を過ぎ永野川を渡ると太平山山頂に向う遊覧道路となる。4月初旬から中旬には、約2kmに及ぶ桜のトンネルとなり、ハイキングやドライブにも快適で、訪れる人の心を癒してくれます。



- 土産・食事処●(太平山3大名物:焼とり、玉子焼、だんご)
- ①山田家 ☎0282(22)4595
 - ②亀家 ☎0282(22)2130
 - ③あづま家 ☎0282(22)3753
 - ④松乃家 ☎0282(22)1740
 - ⑤日乃出家 ☎0282(23)0475
 - ⑥栃木家 ☎0282(22)2126
 - ⑦いづみ家 ☎0282(22)3752
 - ⑧もみじ庵 ☎0282(25)2388
 - ⑨福松家 ☎0282(22)1827

- ががしの里**
- バーベキュー広場 団体・家族等の昼食・休憩等にご利用下さい。
 - 展望広場 ここからの眺めはかかしの里全景とぶどう園地、見石山、太平山の山並みが一望できます。
- いこいの広場**
- センターハウス 内部には多目的ホール・事務所があります。
 - 野球場(ソフトボール)
 - 野外ステージ
 - テニスコート
 - トリム広場
 - ローラースライダー



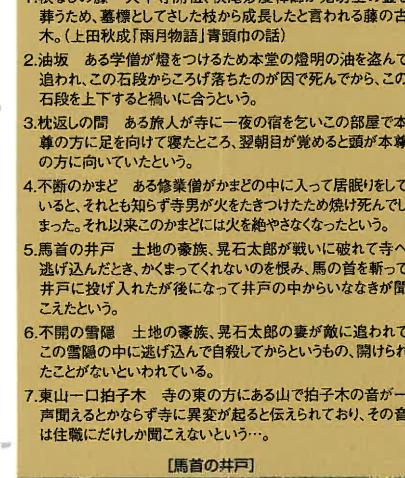
あじさい坂
太平山自然公園六角堂前から随神門に至る太平山神社表参道、約1,000段の石段両側に西洋あじさいをはじめ、額あじさい、山あじさいなど、約2,500株が咲き競います。これらのあじさいは、昭和49年(1974)にライオンズクラブが植樹したのが始まりで、見頃は6月下旬から7月上旬です。石段はこの山で産出する石を使った「のづら積み」で、信徒の努力と寄進のよるものです。雨の日は黒く光り格別に美しい。のんびり眺めながら歩く約30分ほどです。



だいちゅうじ
【大中等】
歴史と伝統の大中等。その境内にあるいこいの森。清らかな水の流れと心休まるひとときを味わうことができます。延徳元年(1489)に開創され、この寺の縁起は「雨月物語」の青頭巾などとして名高く、永祿11年(1568)、上杉謙信と北条氏康が和議を結んだお寺としても有名です。また、境内にある七不思議も広く知られています。

だいちゅうじ
【大中等の七不思議】

1. 根なしの藤 大中等開祖、快庵妙庵禅師が鬼坊主の霊を葬らため、墓標としてした枝から成長したと言われる藤の古木。(上田秋成「雨月物語」青頭巾の話)
2. 油坂 ある学僧が燈をつけるため本堂の燈明の油を盗んで追われ、この石段からころぼち落ちたのが因で死んでから、この石段を上すると痛みに合うという。
3. 枕返しの間 ある旅人が寺に一夜の宿を乞いこの部屋で本尊の方に足を向けて寝たところ、翌朝目が覚めると頭が本尊の方に向いていたという。
4. 不慮のかまど ある修業僧がかまどの中に入って居眠りしていると、それと知らず寺男が火をたきつけたため焼死してしまいました。それ以来このかまどには火を絶やさないという。
5. 馬首の井戸 土地の豪族、見石太郎が戦いに破れて寺へ逃げ込んだとき、かまどに火をたきつけたため、馬の首を断って井戸に投げ入れた後になって井戸の中からいななきが聞こえたという。
6. 不開の雪隠 土地の豪族、見石太郎の妻が敵に追われてこの雪隠の中に逃げ込んで自殺してからというもの、開けられたことがないといわれている。
7. 東山一口拍子木 寺の東の方にある山で拍子木の音が一声聞えるとかからず寺に異変が起ると伝えられており、その音は住職にだけしか聞こえないという...

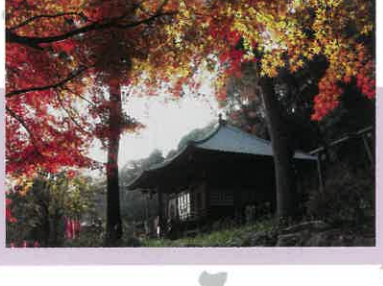


馬首の井戸

しんもん
【随神門】
享保8年(1723)徳川18代吉宗公時代の建築。表に左・右大臣、後に仁王の守護神を配したもので、太平山が寺院の山として栄えていた頃の名残りであります。建て方は入母屋造りで俗にからかさ天井といわれます。



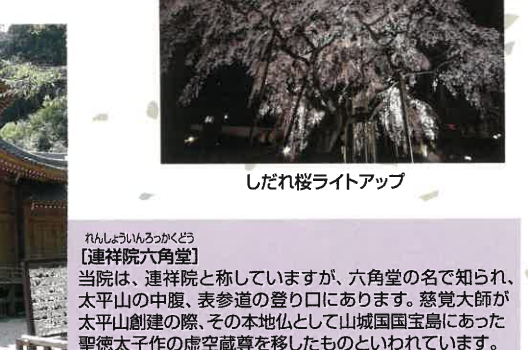
せいすいじ
【清水寺】
下野坂東26番札所として参詣人が多く、本尊は十一面千手観音で、僧行基の作と伝えられています。この観音は一名「瀧の観音」ともいわれています。



たいさんじ
【太山寺としだれ桜】
大平山宝樹院と号する真言宗豊山派の寺院で、太平山の東麓にあります。前庭にあるしだれ桜の老樹は、三代家光の側室で四代家綱の生母、お染の方がこの寺で養生中、家光を偲んで植えたものといわれています。樹齢約350年。4月初旬にはピンク色の一重の花をつけて寺を訪れる人々の目を楽しませています。



れんしやういろうかくどう
【連祥院六角堂】
当院は、連祥院と称していますが、六角堂の名で知られ、太平山の中腹、表参道の登り口にあり、慈覚大師が太平山創建の際、その本地仏として山城国国宝島にあった聖徳太子作の虚空蔵尊を移したものとされています。



しらいけ ちちやうやま
【白石家戸長屋敷】
国指定重要文化財の下野七回り鏡塚古墳出土品を中心に展示する歴史民俗資料館と江戸時代の大庄屋の風格を残す郷土資料館「白石家戸長屋敷」からなる複合施設です。白石家戸長屋敷では、長屋門、萱葺きの母屋と蔵などがゆったりとした空間を演出しています。また、藁など古来の素材を使ったクラフトを楽しむこともできます。

